

スズキ、インド四輪子会社 累計生産台数 1,500万台達成



1,500万台目となった「スイフト ディザイア」

スズキ株式会社のインド四輪子会社マルチ・スズキ・インディア社（以下マルチ・スズキ社）は、このほど累計生産台数 1,500 万台を達成した。

マルチ・スズキ社は 1983 年 12 月に日本の軽自動車「アルト」をベースとした「マルチ 800」の生産を開始し、翌年「オムニ」（エブリイ）を追加。その後「ワゴンR」、「アルト」、「スイフト」などを投入し、2011 年 3 月に累計生産 1,000 万台を達成している。

近年ではガソリン車に加えてインド市場に合ったディーゼル仕様車を設定すると共に、「エルティガ」、「セレリオ」、「シアズ」などを投入し、1983 年 12 月の生産開始以来 31 年 5 カ月、2011 年 3 月の 1,000 万台達成からわずか 4 年 2 カ月で 1,500 万台を達成した。1,500 万台目はスイフトのセダンタイプ「スイフト ディザイア」だった。

マルチ・スズキ社では、首都ニューデリー近郊にあるグルガオン工場とマネサール工場で生産を行っており、2014 年度の生産実績は 130 万台だった。スズキはインド市場の拡大に合わせ、グジャラート州に生産能力 25 万台規模の新工場を建設中であり、これによりインドでの生産能力は最大で年間 175 万台の規模となる。

●生産台数の推移

生産開始	1983 年 12 月
100 万台達成	1994 年 3 月
500 万台達成	2005 年 4 月
1,000 万台達成	2011 年 3 月
1,500 万台達成	2015 年 5 月